

伊豆の国市上下水道工業会は、一年間の豊かな水の恵みに感謝する『水神祭』を、下畑水源池と宗光寺水神地の二カ所で開催しました。
水神祭は、『神武さんの祭』ともいわれ、古くから水源を生活の糧としてきた地元の人たちにより毎年催されています。しかし、水道の発達による祭典の立ち消え、その後の再開を経て、現在では市上下水道工業会が主催しています。
式典には、市長や市議会議員、地元議員、工業会に加盟する業者や地元住民、行政関係者らが出席しました。水源池、水神地それぞれで神主が祝詞を奏上し、水の安定供給や水道工事の安全を祈願しました。

5/21
命の水よありがとう
下畑水源池・宗光寺水神地水神祭



下畑水源池にて水神に祈る市長(右から3人目)ら

5/15
~6/15
市内二会場
ホタルまつりin伊豆の国

『ホタルまつりin伊豆の国』を市内二会場で開催しました。葦山会場では古川護岸でホタルが観賞できるため、期間中、古川付近の葦山反射炉もライトアップ。六月六日にはフリーマーケットやホタルコンサートを開催し、ジャズダンスやギター演奏、盆踊り、国民文化祭のプレ上演など



連日ホタルが乱れ飛び、来場者を楽しませた各会場(写真は長岡会場)



左から土屋事務局長、植松さん、市長、伊賀さん、岩田会長

5/22
力を合わせて全国へ
全日本バウンドテニス選手権大会

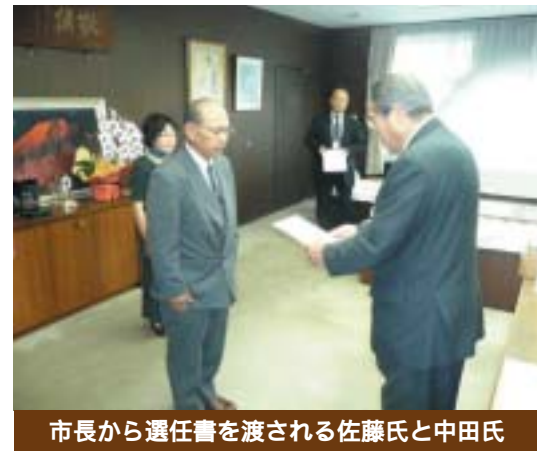
市バウンドテニス協会(岩田絏子会長)の選手が、県バウンドテニス選手権大会で上位入賞し、全日本バウンドテニス選手権大会の出場権を獲得したことを市長に報告しました。
全国に駒を進めたのは、県大会の男子シングルで二位になった原良彦さん(南條)と、同じく女子ダブルス・ミドルの部(四十歳以上六十歳未満)で優勝した伊賀みどりさん(四日町)・植松綾子さん(葦山多田)ペアの計三人。なお、伊賀さんは女子シングルでも優勝しました。
伊賀さんは市長に、「全国大会でも力を合わせてがんばりたい」と語り、六月十四・十五日に東京で開催された全国大会に挑みました。

で会場を盛り上げました。
また長岡会場では、小坂清水池親水公園でホタルを観賞。池のほとりには多くのホタルが乱れ飛び、訪れた旅館客らを楽しませました。また六月七日、十四日には特別イベントとして、映画『ほたるの星』上映会も開催しました。

PHOTO
ぎやらりー

5/18
幼・保・小・中一環して
新教育長、教育委員長決定

この日、伊豆の国市教育委員会委員として、中田保子氏、佐藤亨氏の二人が選任され、市長から選任書が手渡されました。引き続き、教育委員会五月臨時会が開催され、教育委員長は大川治彦氏(土手和田)、同委員長職務代理は亀井眞理子氏(宗光寺)、教育長は佐藤氏に決まりました。伊豆の国市誕生から初代教育長として教育行政の推進に努めてきた佐藤教育長は、「知・徳・体のバランスのとれた人材育成を目標に、保・幼・小・中の一環連携で子ども、教員同士の交流などを積極的に進めたい。また、緊急の課題である学校施設の耐震対策事業についても早急に対処したい」と抱負を語りました。



市長から選任書を渡される佐藤氏と中田氏

5/24
第九分団 小型で優勝
田方支部消防操法大会



5市1町を制した第9分団の小型ポンプ操法

『平成二十一年度静岡県消防協会の田方支部消防操法大会』が、伊東市かどの球場で行われました。大会では、五市一町の消防団員が日ごろの訓練の成果を競い合い、伊豆の国市消防団からは、『小型ポンプ操法の部』に第三分団が、『小型ポンプ操法の部』に第九分団がそれぞれ出場しました。
審査の結果、『小型ポンプ操法の部』で、第九分団が見事優勝。指揮者を務めた同分団の中村友也部長は、選手だけでなく、ホース巻きなど、すべての団員と一緒に練習をがんばった結果ですと語りました。
第九分団は、七月十八日に袋井市の小笠山総合運動公園で開催される県大会に出場します。

5/19
東海、そして全国へ
全日本小学生ソフトテニス選手権

葦山ジュニアテニスクラブと大仁ジュニアソフトテニスクラブの選手が、全日本小学生ソフトテニス選手権大会県予選で好成績を上げ、東海・全国大会出場を決めたことを市長に報告しました。栄光の切符を手にしたのは、鈴木みずきさん・梅原奈央さんペア(県優勝)、矢田一馬くん・室伏宏紀くんペア(県三位)、木田美玖さん・相原朋美さんペア(同三位)、本田優花さん・遠藤紀香さんペア(同四位)の四ペア八人の小学生たち。八人は、七月十一日から三重県で開催される東海小学生ソフトテニス選手権大会、八月六日から岐阜県で開催される全日本小学生ソフトテニス大会に出場します。



「次も上位を目指します」と抱負を語る選手たち

6/5
少数精鋭で見事優勝
静岡県柔道祭・小学生の部

大仁柔道会の五・六年生が、第五十一回静岡県柔道祭で優勝したことを、市長に報告しました。試合はチーム戦で行われ、選手は、大将・辻幸之介くん、副将・鳥沢規子さん、中堅・石川紘太くん、次鋒・菊池涼音さん、先鋒・溝口透くん、補欠・依田康希くん、同・山田有也くんの七人。
菊池傑監督は、「少子化で、現在、大仁柔道会には六年生が三人しかないが、皆が力を合わせ、本大会で約二十年ぶりの優勝を勝ち取ってくれた」と語りました。
同会では、小学生の会員を募集中。詳しくは大仁柔道会(菊池)電話0558(76)2840まで。



少数精鋭で見事優勝した大仁柔道会の選手たち